

運営の在り方 整理表

運営の在り方 パターン	メリット	デメリット	改善の可否							懸念課題・留意事項
			役員 の 責任体制	支援員 の 処遇	指導 の 質の向上	保護者 の 理解・関心	地域 との 連携	クラブ 間の 連携	行政 との 連携	
①任意団体 (保護者会・運営委員会)	保護者や地域の方が、原簿クラブに深く関わることができる 地域の特色を生かした運営ができる ボランティアがルーツとなっているクラブでは、利用料等が低く抑えられている	現状運営のメリットは残るが、現状課題の解決に至らない 労基法の理解不足(各種保険の未加入等) 会計事務の負担 受益者たる保護者が、支援員の雇用主といったイビツな関係になっている	×	×	×	△	△	×	×	
②複数クラブの事務の 一本化	各クラブの事務負担の減少	その他の課題解決に繋がらず、事務職員の雇用の問題等、新たな課題 が生まれる可能性がある 事務職員の選任 利用者負担金や給与体系がクラブ毎に違う中、どう一本化するか	×	×	×	△	△	×	×	
③-1既存法人への運営の 移管(クラブ毎)	役員 の 責任体制の確立 雇用体系の整備 保護 の 質の向上 学校・行政との連携を図りやすい	保護者や地域との関係に開きができる。(保護者にとってただの預ける場 所となる可能性) 利用料の増 クラブ運営を引き受けてくれる法人が見つかるか 運営主体が変わる際の余剰金の取扱いについて 地域の特色が薄くなる 保護者の理解	◎	○	○	△	△	△	○	
③-2既存法人への運営の 移管(複数クラブ)	役員 の 責任体制の確立 雇用体系の整備 保護 の 質の向上 学校・行政との連携を図りやすい	保護者や地域との関係に開きができる。(保護者にとってただの預ける場 所となる可能性) 利用料の増 クラブ運営を引き受けてくれる法人が見つかるか 運営主体が変わる際の余剰金の取扱いについて 地域の特色が薄くなる 保護者の理解	◎	○	○	△	△	△	○	
④-1法人化(クラブ毎)	役員 の 責任体制の確立 雇用体系の整備 信頼感が増し、学校や行政と対等な立場で話ができる 地域の特色を残せる 必要な支援を受けられる体制の確立	所轄庁へ事業報告書等の提出等、事務作業が増加する。 保護者や地域との関係に開きができる。(保護者にとってただの預ける場 所となる可能性) 法人化に至るまでの知識不足 利用料の増 保護者の理解 役員 の 選任 役員 の 人手不足	○	○	△	△	△	×	○	
④-2法人化(複数クラブ)	役員 の 責任体制の確立 雇用体系の整備 信頼感が増し、学校や行政と対等な立場で話ができる 地域の特色を残せる 必要な支援を受けられる体制の確立	所轄庁へ事業報告書等の提出等、事務作業が増加する。 保護者や地域との関係に開きができる。(保護者にとってただの預ける場 所となる可能性) 法人化に至るまでの知識不足 利用料の増 保護者の理解 役員 の 選任	○	○	○	△	△	△	○	